



岐阜市編

8

岐阜森林管理署

◆金華山

岐阜の「ええとこランキングーベストテン」で堂々の一位となった金華山（国有林）は、岐阜市の中心部に位置し、標高は三百二十九メートルと低いものの御嶽山や濃尾平野の眺望がすばらしく、年間百万人もの登山者が訪れる市民の憩いの場となっています。

平成二十三年二月「史跡岐阜城跡」に指定され、江戸時代から四百年間手つかずの自然が残る景観と歴史に恵まれた岐阜市のシンボルとなっています。



金華山と長良川

◆長良川

岐阜市の中心を流れる長良川は、大日ケ岳から伊勢湾に注ぎ、昭和六十年には「名水百選」に選ばれた美しい川であり、また、河川では唯一、平成十三年の「日本の水浴場八八選」にも選定された水量豊かな清流です。

◆長良川鵜飼と鵜飼観覧船造船所

古典漁法を今に伝える長良川鵜飼は、千三百年以上の伝統を誇り、見る者を幽玄の世界へと誘う夏の風物詩となっています。



長良川鵜飼い

この鵜飼を、陰で支えるのが鵜飼観覧船造船所です。市営の造船所は全国唯一で、伝統的な和船の建造段階を見学することができます。



鵜飼観覧船造船所

観覧船の材料は、岐阜・長野県産の良質なコウヤマキ（長さ五メートル、末口四十センチメートル以上）を使用しますが、一本の丸太から使用できる板は八枚くらいしかとれません。また、設計図面はなく、経験豊かな船大工の匠の技で建造され、観覧船一隻の完成には約半年間かかり、一年間に二隻の船が造られます。



造船風景

◆古い町並みの川原町

長良橋南詰の鵜飼観覧船のりばから西へ続く「湊町・玉井町・元浜町」の町並みは通称「川原町」といい、格子戸のある古い町並みが今も残る人気スポット。

この地域は江戸時代より長良川の重要な湊町として奥美濃からの木材や美濃和紙の陸揚げがされ、それを扱う問屋町として栄え、特に美濃和紙は岐阜提灯、岐阜和傘、岐阜うちわなど岐阜の伝統工芸には欠くことのできない物で川原町が岐阜の工芸品を生んだといえます。



古い町並みの川原町

◆アクセス

JR岐阜駅から岐阜公園まで

岐阜バスで約二十分